

会 告

去る六月十九日に開催されました史学研究会理事・評議員会におきまして、左記の事項が可決、承認されましたのでご報告申し上げます。

記

- 一、二〇〇七年年度決算報告
- 二、二〇〇八年年度予算案

一、役員の変更

1. 退任

理事長 金田章裕 (↓理事)
常務理事 田中和子 (↓理事)
理 事 吉川真司 (↓評議員)
久武哲也

藤井讓治 (↓理事長)
泉 拓良 (↓常務理事)
岩井茂樹 (↓監事)
島田真杉 (↓理事)
大戸千之、近藤 治

評議員 小山 哲 (↓理事)
中砂明德 (↓常務理事)
編集委員 青谷秀紀 (西洋史)
谷川穰 (日本史) (↓評議員)

庶務委員 松本 彩 (東洋史)
下垣仁志 (考古学)

2. 新任

理事長 藤井讓治
常務理事 泉 拓良、中砂明德
理 事 金田章裕、島田真杉
小山 哲、田中和子

監事 岩井茂樹
小林 功、渡辺秀一
木田知生、吉川真司

評議員 谷川 穰
編集委員 梶さやか (西洋史)
綴治宏介 (日本史)

庶務委員 丹治美玲 (東洋史)
稲畑航平 (考古学)
南都奈緒子 (地理学)
佐藤夏樹 (二十世紀学)

編 集 後 記

史林第九一卷第四号をお届けいたします。今号には、考古学・東洋史・西洋史の各分野から論説・書評・紹介を掲載することができました。今号の論説は、東北アジアで発掘された古代の馬具の製作技術と機能の変化を綿密に検討して馬具の広域編年を明らかにした巻頭の諫早論説をはじめとして、

中国史上に名高い秦の文字統一について史料の字句の読み直しを通じて新見解を提出した山田論説、サガと呼ばれる史料に着目して一三世紀のアイスランド社会を考察した松本論説、清末中国における近代的教育制度導入をめぐる葛藤を地方レベルの史料を用いて論じた宮原論説と、いずれも史料の新たな活用をはかった若い研究者による意欲作で、それぞれ今後のさらなる展開も大いに期待されるところです。

一点、訂正がございます。前号第九一卷第三号の奥付の巻号が誤って「第二号」と記されておりました。お詫びして訂正いたします。(古松崇志)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.soc.nic.jp/shr/index.html>

二〇〇八年七月二五日印刷 定価 二二〇〇円
二〇〇八年七月三一日発行

史 林 第九一卷第四号(通巻第四七〇号)

京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学部研究科内

電 話 〇七五七 七五三二 二七八七

FAX 〇七五七 七五三二 二七八七

発行人 史 学 研 究 会
振替京部 〇一〇七〇二一五 一五五番
理事長 藤 井 讓 治

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽薬田元